



よしみ みわ 由美

(松戸市)

日本共産党県議会議員

県議会報告 2009年11月

(事務所) 松戸市千駄堀 1810-2
TEL 047(349)1544 FAX 047(349)2293
http://www.miwa-3838.jp



9月県議会で意見書提案理由をのべる みわ由美議員

不正経理 30億円

12年前にも内部告発 隠ぺい体質にメスを入れよ

調べたのは支出の0・1%だけ

千葉県庁ぐるみの「不正経理」。県民は怒り心頭です。2003年度から5年間の消耗品費65億円のうち30億円が不正経理でした。

調べたのは、県の一般会計のわずか0・1%。他の費目や、2002年度以前の分など、歳出全体の調査と結果の公表を要求します。

「だれが書いたか、わからない」と
調査拒否(当時の知事)

県庁トップは「知らなかった」と言いますが、上司や幹部の関与ぬきに、担当職員だけの判断でできるものではありません。

1997年、手口や使い道まで詳しく明らかにした県庁職員からの内部告発があり、日本共産党は調査を求めました。しかし、当時の知事は「誰が書いたか、わからない」などと調査すら拒否。こうした「隠ぺい」体質が長期にわたる不正を許してきたのです。

調査特別委員会を設置

日本共産党は、

全容解明と再発防止にむけて、県議会に証人喚問など強力な調査権限をもつ「百条調査委員会」の設置を求めてきました。9月県議会では全会派一致で「不正経理調査特別委員会」がつくられました。

森田知事 こんどは 私立幼稚園から政治資金

知事は、県が補助金を出している私立幼稚園からの講演料を政治資金にしていました。この間も、福岡県の公立高校からの講演料が問題になったばかり。学校法人の政治活動は教育基本法で禁止されています。不正経理問題で「膿を出し切る」と豪語する知事。自身の疑惑を曖昧にはできないはずですよ。

ハッ場ダム やはり中止が道理です

水あまり、
洪水対策に効果なし

千葉県は、将来、必要となる水量より、多い水を確保しています。ハッ場ダムがないと水不足で困るなどということはありません。

1947年の「カスリーン」台風並みの洪水に備えると言いますが、昨年6月、国交省自ら、ハッ場ダムに治水効果がないことを認めています。

もう7割もできた、と言うけれど
止めた方が安上がり

ハッ場ダム建設の総事業費は4600億円。金利、関連事業費を含めると9千億円(千葉県負担760億円)にもなります。このうち7割が使われましたが、昨年度末の工事進捗率は、国道は6%、県道2%、鉄道75%、代替地10%。ダム本体工事はこれからです。今後、地すべり対策や東電への減電補償も加えると、さらに二千数百億円もかかる見込みです。

中止した場合の地元生活関連事業や千葉県などへの返還金は、千七百億円程度。はるかに安上がりです。千葉県に返還されたお金は、暮らしや福祉の貴重な財源となります。



日本共産党

みわ由美県議と力をあわせて
がんばります

田村 智子
(元国会議員秘書)

斉藤 和子
(党県青年学生部長)

伊藤余一郎
(市議会議員)

中村たか子
(市議会議員)

うつの史行
(市議会議員)

高橋たえこ
(市議会議員)

高木 健
(市議会議員)

国は謝罪と説明、生活再建を

現地の住民は、半世紀がかりで「ダム容認」に追い込まれました。政府は、この苦しみをしっかり受け止め、まず謝罪する必要があります。すべての情報を公開して、ダム必要論の誤りを正し、住民参加のもとに、ダム建設中止後の生活再建、地域振興策を国の責任ですすめることが必要です。

森田知事は、ダム建設への固執をやめ、河川や堤防整備の予算を増やし、実態に即した水需給見通しをつくらせて、県民が安心できる将来計画を示すべきです。